



市民ファミリーソフトボール大会 (8月29日)

お気軽においでください

市民と市長の「よもやま話」の日

10月26日(火)・午後1時30分から行います。
・時間等については御相談ください。

【受付・問い合わせ】 市役所3階 総務課広報広聴係
(☎52-0080 内線323)
までお願いします

- 市制施行50周年記念式典のご案内……②
- 小池市長市政報告……………③⑥
7・13大水害における他市町村への加茂市の
支援活動の8月末までの概要について
- 加茂川水生生物調査……………③④
- 歯の健康……⑩/やさしい医学……⑮
- 加茂の風土記……………⑮

主な内容

加茂市制施行50周年記念式典 開催

市民の皆様の式典ご参加を お願い申し上げます

記念講演 野中広務氏

三浦克次氏によるお祝いの歌があります

加茂市は、昭和29年3月10日に市制を施行してから、今年で50周年を迎えました。

そこで、市制施行50周年を記念いたしまして式典を開催いたします。

参加をご希望される方は、お申し込みください。

よろしくお申し込み申し上げます。

日 時 11月14日（日）午後1時から
会 場 文化会館大ホール
式 典

第1部 式辞等のほか日本を代表する加茂市出身のオペラ歌手 三浦克次さんによるお祝いの歌や小学生による市民憲章朗読、合唱団と小中学生によるコーラスなど。

第2部 記念講演 元自由民主党幹事長・元内閣官房長官 野中広務氏

市民ご参加のご人数は約450人を予定しています。申し込み多数の場合は抽選とします。
申し込み方法

①参加申込書を加茂市役所総務課（3階）までお届けください。郵送でもお受けいたします。

宛 先 〒959-1392 加茂市幸町2丁目3番5号・加茂市役所総務課

②電話、ファックスでもお申し込みできます。

電話番号 52-0080（内線321） ファックス番号 53-2729

申し込み期限 10月25日（月）

その他 抽選結果は後日連絡いたします。

問い合わせ 加茂市役所総務課 電話52-0080（内線321）

キ リ ト リ

加茂市制施行50周年記念式典 参加申込書

氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
	959-13____	加茂市	
	959-13____	加茂市	
	959-13____	加茂市	
	959-13____	加茂市	
	959-13____	加茂市	

市政報告

加茂市長 小池 清彦

七・一三大水害における他市町村への加茂市の支援活動の八月末までの概要について

このたびの七・一三大水害における加茂市の他市町村への支援活動の概要は、次のようになっております。七月号に掲げたものも含め、あらためて御報告申し上げます。

被災された皆様方が一日も早くお元気になられますよう心からお祈り申し上げます。

(1) 加茂市民の大勢の皆様が三条市をはじめ被災地に御親戚や知人がおられ、そこへ連日、救援に行かれて、泥水につかりながら作業をされました。

(2) 大勢の方々が、いろいろな関係のボランティアとして三条市をはじめ被災地で活動されました。

(3) 加茂市社会福祉協議会は、七月十六日から八月八日まで、ボランティアを募集して車で被災地へ送迎いたしました。ボランティアの方々の人数は、延べ八十六人で、その内容は、三条市へ三十六人、中之島町へ三十三人、見附市へ十七人でありました。

(4) 七月十八日から八月八日まで、ボランティアセンター勤務のため、社会福祉協議会職員延べ二十二人を派遣いたしました。内訳は、三条市へ二十人、中之島町へ二人でした。

(5) 加茂市建設業協会では、会員の各建設会社を挙げて、七月十三日夜から八月十二日まで、五十嵐川へ応援に赴き、堤防の仮復旧に従事されました。また、七月十七日から十九日まで、水害ごみを撤去するため、四トンダンプ四台と作業員四人を三条市建設業協会に派遣されました。

さらに七月二十日から加茂市建設業協会で一バレーター（積込機械一）二台、ダンプ五台、作業員及び誘導員六人）を組んで、二十三日まで二十

四時間体制（三交代）、二十四日から十六時間体制（二交代）で三十日まで応援し、北新保地区及び本成寺地区のごみを撤去いたしました。

(6) 加茂地域消防本部の消防職員延べ十八人、高規格救急車一台を七月十三日から十五日まで三条市に派遣いたしました。また、消防職員延べ六人を七月二十二日から二十四日まで三条市に派遣いたしました。

(7) 加茂市消防団員延べ百人が七月二十二日から二十四日まで、三条市へ赴き、救援活動を行われました。

(8) 加茂市職員組合は、七月二十三日から八月一日まで、職員ボランティアを募集し、延べ三十一人が三条市へ赴きました。

(9) 私は、三条市長さんや助役さんが被災直後で忙しくしておられる中、三条市へ参上すると御迷惑になりますので、三条市にお電話いたしましたところ、佐藤助役さんがおられましたので、お見舞いを申し上げ、全力を挙げて御支援いたしますの

で何でもお申しつけくださいと申し上げました。

(10) 加茂市から御見舞金を被災された市町村へ差し上げました。七月二十一日に市長がそれぞれの市町村へ参上してお見舞いを申し上げました。その際、市長は、加茂市は全力を挙げて御支援申し上げますので何でもお申しつけくださいと申し上げました。

御見舞金の金額は、次のとおりです。なお、金額は新聞やテレビでの報道による被災状況等を勘案して決めさせていただきました。

三条市へ	百万円
見附市へ	五十万円
中之島町へ	五十万円
下田村へ	二十万円
栄 町へ	十万円
長岡市へ	二十万円
栃尾市へ	二十万円

(11) 加茂市議会から三条市へ二十万円、見附市へ十万円、長岡市へ十万円、栃尾市へ十万円の御見舞金を差し上げました。七月二十三日、樋口博務議長さんから各市の議長さんへお渡しになりました。

(12) 七月十六日から二十六日までの十一日間、毎日三条市の御要望により、加茂市役所の職員が五人ずつ、三条市の避難所に勤務いたしました。五人のうち二人は保健師または看護師でございました。

(13) 七月二十二日から二十六日までの五日間、三条市の御要望により、災害を受けた場所の写真を撮る要員として、加茂市役所職員一人が三条市に勤務いたしました。

(14) 七月二十五日、三条市の要望により、バス一台と運転手一名を派遣し、避難所におられる方々をポエムのお風呂に送迎しました。

(15) 八月二十四日から二十六日まで三条市からの要望により、毎日、保健師一名を派遣いたしました。

(16) 美人の湯は、ちょうど水害が発生した七月十三日から、湯湯するためのケーシング管を清掃中で「薬湯湯の華」で営業していましたが、工事が終わりましたので八月十日から、分水町てまりの湯に代わり、三条市の避難所生活を送っておられる方々に対し、バスでの送迎付き無料入浴サービス

を実施しております。八月末までに三百四十四人の方が入浴されましたが、避難所が続く限り、この送迎付き無料入浴サービスを行ってまいります。

(17) 下条、七谷、須田のコミュニティセンターには、三条市から極めて大勢の方々が入浴においてになりました。そこで加茂市では、この三つのコミュニティセンターの入浴終了時間を三十分延長して八時半までといたしました。

下条コミュニティセンターに、地元の方から、タオル五十本、石けん四十個の寄付がありました。

(18) 七月十六日から市内の介護施設で、三条市の被災した要介護者を受け入れております。八月末までに延べ十五人を受け入れました。内訳は、平成園四人、第二平成園八人、さくら苑三人であります。八月末現在の入所者は、平成園一人、第二平成園二人、さくら苑一人の計四人となっております。ですが、今後とも受け入れてまいります。

(19) 七月十三日から八月一日まで、三条市の火葬場が足りなくなった日は、加茂市の火葬場を利用し

ていただきました。延べ三人でありました。

(20) 七月十四日、三条市に非常食（クラッカー）五百食分を寄贈いたしました。

(21) 七月十七日、三条市に拡声器五台をお貸しいたしました。

(22) ごみの焼却につきましては、全力で御支援することを三条市や県にお伝えしてあります。

加茂市・田上町消防衛生組合の焼却炉の一日の焼却能力は、六十トン〜七十トンです。これに対して、加茂市と田上町のごみの焼却量は、一日約五十五トンです。残りの余裕は、すべて三条市等への支援に充てることとし、毎日十トンはお引き受けする旨を伝えてあります。この一日十トンという量は、県内の各市町村の支援申出量の中では、ずいぶん多い量だとのこと。県の調整により、加茂市はまずもって三条市を御支援申し上げることにいたしました。要請をお待ちしているところで

す。
何か月でも、あるいは一年以上でも、三条市の大量のごみの処分が終わるまで御支援する決意で

す。

(23) 現在加茂市は、被災地の復興に向けて、義援金を募集中です。市民の皆様の温かいお心に厚く感謝申し上げます。

以上が八月末までの加茂市及び加茂市民の皆様への支援の概要ですが、支援は、今後とも続くこととなります。

三条市をはじめ被災地の皆様方が完全に復興されるその日まで、加茂市は全力を挙げて御支援申し上げます。ご協力をお願いします。

電気使用安全月間

8月1日
~31日

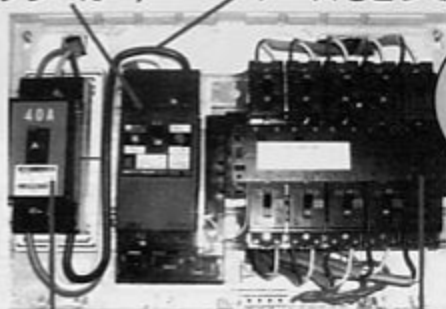


電気を安全に使っていただくために

漏電遮断器を 取り付けていますか？

漏電遮断器
(漏電ブレーカー)

中性線
アースをとっている線



アース付き
の分電盤を
付けましょう

アンペアブレーカー

配線用遮断器
(安全ブレーカー)

過剰な電気を
シャットアウト

電気の行き先を
配線ごとに守っています

漏電遮断器による

火災や感電事故

を防ぐとても大切な器具です。

漏電遮断器は漏電を瞬時に感知して電気を止め、火災や感電事故から守ってくれます。

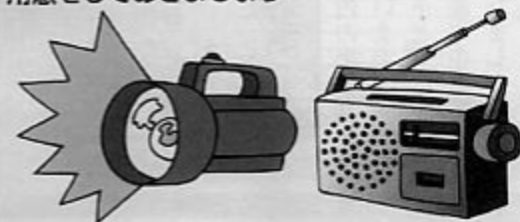
漏電遮断器にはテストボタンが付いています。

定期的に正しく動作するかチェックしましょう！

災害時の安全対策

日頃から準備

停電に備えて、懐中電灯やラジオの用意をしておきましょう



避難するときはブレーカーを切って

電気の消し忘れや停電の復旧後の事故を防ぐために、家を離れる時はブレーカーを切ってください。



切れた電線には絶対にさわらないで

電線に樹木や看板、アンテナなどが接触している場合もたいへん危険です。最寄りの電力会社に連絡してください。



ご家庭・事務所・工場での電気についてのご相談はお近くの電気工事店へ

新潟県電気工事工業組合

加茂川水生生物調査



七月三十日、市内小学校の五年生四十五名が加茂市、三条健康福祉環境事務所、加茂地区理科教育センターと、加茂川の上流・下流に生息する水生生物の調査を行いました。この調査で水生生物が「きれいな水」「きたない水」を教えてくださいました。

「この虫なにかなあ？」

「あつ、ヘビトンボだ！」

「こつちにはサワガニがいたよ！」

川底の石の下や石の間に潜んでいる水生生物を捕まえた子どもたちは、パンフレットを片手に生物を分類します。

川の中には多くの水生生物が生息しています。特に川底に生息している生物は、その地点の水のよごれ具合を教えてくださいます。このように川の環境の状態を私たちに教えてくれる生物を指標生物といいます。

この調査は、カワゲラやヒラタガゲロウなど、河川に生息する、体長数センチから十センチくらいの指標生物を分類すること、で、「きれいな水」「少しきたない水」「きたない水」「大変きたない水」の四階級に河川の水質を判定するものです。

身近な加茂川での体験学習を通じて、河川の水質保全の重要性を知ってもらうため、毎年夏



休みに、市内の小学五年生を対象に行っています。

参加した子どもたちは九班に分かれ、加茂川の上流と下流の生物を採取しました。上流は水源地上流の新ヶ沢、下流は葵橋から下川原橋の間でそれぞれ調査を行いました。

子どもたちはひざまで水につきながら、石をひっくり返しては裏に隠れている生物を探したり、網で川底をすくってみたりして生物を採取し、川べりで採取した生物をパンフレットと照らし合わせながら友達と確認したり、先生に「これは何という生物？」などと質問しながら、捕まえた生物の種類や数を記録しました。

今までに見たこともない生物が次々と見つかるので、子どもたちは夢中で生物を採取していました。



加茂川の水は「きれいな水」？

午後から七谷コミュニティセンターに場所を移し、加茂地区理科教育センター有本正樹先生の指導により、各班の記録をもとに全体の採取結果の集計を行い、加茂川の上流と下流の水質の判定を行いました。

上流は、サワガニやカワゲラ、ヘビトンボなど「きれいな水」に生息する生物が多く採取され、「きれいな水」と判定されました。

一方下流は、「きれいな水」に生息するヒラタガゲロウから「大変きたない水」に生息するセスジユスリカまで幅広く採取されましたが、「少しきたない水」に生息する生物が多く見られたため、総合的に「少しきたない水」と判定されました。

川がよごれる原因は？

「川が汚れる原因は何でしょうか？」

水質判定の後の講話で有本先生は子どもたちに問いかけました。

「川が汚れる一番の原因は、私たちの家庭から排出される生活排水で、全体の約五割を占めています」という答えに子ども

たちは大変驚いたようです。

続いて「味噌汁一杯を魚がすめるようになるまでに薄めるには、一・五リットルのペットボトルで何杯分の水が必要でしょうか？」との問いに、百杯、二百杯との答えがあがったもののほとんどの子どもたちは首をかしげ、「答えは千杯です」と聞くと、再び驚きの声があがりました。

加茂川水質調査を終えて

加茂地区理科教育センター 有本正樹先生

今年七月の集中豪雨の影響で水生昆虫が少ないのでは心配されましたが、子どもたちは石の裏や川岸を丹念に探し回り、多くの水生生物を発見していきましました。

葵橋付近では「きれいな水」にすむヒラタカゲロウも見られましたが「少しきかない水」にすむ生物が多く見つかったため、葵橋付近の水質階級は「Ⅱ少しきかない水」と判定されました。水源地上流では「きれいな水」にすむヘビトンボやサワガニが多く見つかり、水質は「Ⅰきれいな水」と判定されました。

加茂川では、イワナ、ヤマメ、アユなど四十種以上の魚が生息し、ヤマセミ、カワセミ、オシ

ドリといった貴重な野鳥も観察できます。市街地を流れる川でこれだけ豊かな自然を目にするのできる川はなかなかありません。また、どこからでも川に入ることができ、川に親しみやすいのも加茂川の素晴らしいです。

加茂川に行くと、魚をとっている人、河川敷でのんびりしている人、散歩している人など、川に親しむ人の姿をいつも見かけます。人々が川と親しみ川を愛することが川の環境を守ることにつながっていくのだと思います。未来を担う子どもたちも大いに加茂川に親しみ、加茂川を大切に思う心を育んでほしいと願っています。



先生の講話により、川が汚れる原因が自分たちの生活によって排出される生活排水であり、汚れた川を元のきれいな水に戻すことはとても大変だということを実感したようです。川を大切にしなければならぬ、という言葉に子どもたちは大きくうなずいていました。

きれいな加茂川をいつまでも

今回の調査では、上流でヤマメが見られました。ヤマメは指標生物ではありませんが、清流にしか生息していない魚です。

加茂川にはこの他にも、ウケクチウグイやアカザ、メダカなど、近年数が減少しており新潟県発行の「レッドデータブック新潟」で準絶滅危惧種に指定されている魚も生息しています。

私たち一人ひとりの気配りとその積み重ねにより、きれいな加茂川にすることができるようか。

平成16年度加茂川水生生物による水質調査

H16.7.30

調査場所名	時間		天候	
	開始	終了	開始	終了
調査場所名	9:20	10:00	晴	晴
調査時間				
調査場所				
水質階級				
きれいな水				
水質階級Ⅰ				
少しきかない水				
水質階級Ⅱ				
きたない水				
水質階級Ⅲ				
大変な水				
水質階級Ⅳ				
水質階級の判定				
その地点の水質階級				

○：出現した生物 ●：特に多かった生物

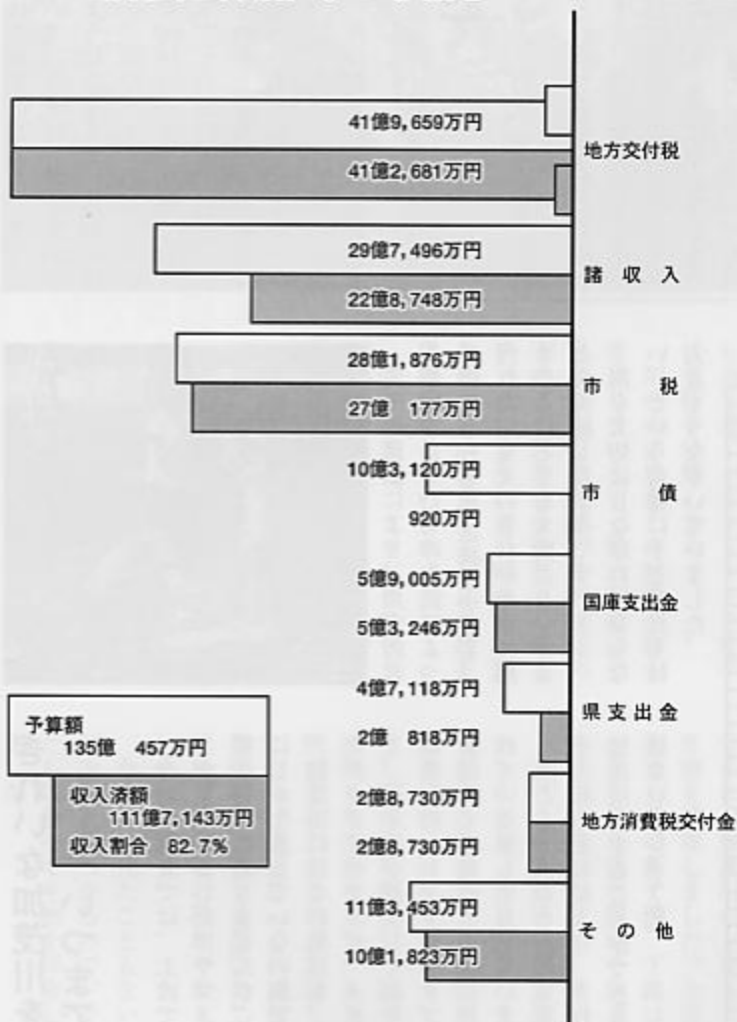


平成15年度
下半期の
財政状況

市の家計簿

一般会計 総額135億457万円

一般会計歳入の状況 (16.3.31現在)



加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか…。
市では毎年二回財政のあらましを公表しています。今回は昨年の10月から今年3月末までをグラフと表でまとめました。

市の会計年度は3月末で終わりますが、5月までの整理期間を経て確定します。3月末現在の予算に対する割合は、歳入で82.7%、歳出で86.8%となっています。
加茂市がどのような施策を行っているか、表とグラフでご覧ください。

一般会計 市民1人あたりでは

人口 32,884人 (H16.3.31現在)

- 収入額 (歳入・収入済額) 339,722円
- 支出額 (歳出・支出済額) 356,524円
- 市税負担金額 96,650円
- 市債(市の借金一般会計分) 377,551円
- 基金の額 (現金のみ) 50,515円

市税の収入状況

税目	調定額 (万円)	収入済額 (万円)	収納率 (%)
市民税	10億1,996	9億2,607	90.8
固定資産税	17億2,008	13億8,015	80.2
軽自動車税	5,704	5,440	95.4
市たばこ税	1億6,063	1億6,062	100.0
特別土地保有税	59	1	1.7
入湯税	2,090	2,090	100.0
都市計画税	1億9,905	1億5,962	80.2
合計	31億7,825	27億177	85.0

※調定額とは、皆さんから納めていただく税金の決定額のことです。

特別会計

項目	予算額 (万円)	歳入		歳出	
		収入済額 (万円)	収入割合 (%)	支出済額 (万円)	支出割合 (%)
国民健康保険	24億8,480	21億304	84.6	22億7,086	91.4
老人保健	33億8,623	31億4,909	93.0	30億8,286	91.0
宅地造成事業	4億2,090	1億7,793	42.3	6,906	16.4
下水道事業	24億4,465	15億112	61.4	16億9,977	69.5
介護保険	17億7,352	16億7,407	94.4	15億6,046	88.0
在宅介護サービス事業	4億9,061	4億2,942	87.5	4億2,054	85.7
市民福祉交流センター	2億1,272	1億4,328	67.4	1億5,664	73.6
合計	112億1,343	91億7,795	—	92億6,019	—

主な補正予算（下半期）

■地方バス路線運行維持対策費	3,416万円
■生活保護費扶助費	1,700万円
■私立認可保育所費	1,665万円



一般会計歳出の状況（16.3.31現在）



市債現在高

259億102万円

市債とは、市が道路や建物、施設設備などを整備するために国等から資金を借り、これを長い期間をかけて返済していく借金のことです。

区分	現在高(万円)
1 総務債	11億1,400
2 民生債	19億947
3 衛生債	10億3,048
4 農林水産業債	5億5,786
5 商工債	4,142
6 土木債	41億4,274
7 消防債	5,378
8 教育債	18億6,873
9 災害復旧債	1,363
10 転貸債	1億3,106
11 減税補てん債	8億1,982
12 臨時税収補てん債	1億8,579
13 臨時財政対策債	5億4,660
一般会計総計	124億1,538
下水道事業特別会計	134億8,564
特別会計総計	134億8,564

市有財産の状況

土地	1,084,639㎡
建物	126,923㎡
構築物	225基
基金	16億6,115万円 450,424㎡

水道事業

項目	予算額(万円)	執行済額(万円)	執行割合(%)	
収益的	収入	5億6,978	5億3,543	94.0
	支出	6億7,125	6億3,660	94.8
資本的	収入	9,712	5,397	55.6
	支出	1億7,793	1億2,929	72.7

ロシア少年少女民族舞踊アンサンブル

ラーダスチ

加茂市市制施行50周年記念



日時 **10月21日(木)** 午後6時30分開演

会場 **加茂文化会館**

入場無料

(入場整理券が必要です)

主催：加茂市・加茂市国際交流協会

後援：加茂文化協会／在新潟ロシア連邦総領事館／新潟日报社／朝日新聞新潟総局／
読売新聞新潟支局／毎日新聞新潟支局／NHK新潟放送局／BSN新潟放送／
NST新潟総合テレビ／TeNYテレビ新潟／NT21新潟テレビ21

入場整理券は加茂文化会館・市民サービスセンターほか各コミュニティ
センター・加茂市公民館・勤労青少年ホーム・総務課でお求めください。

お問合せ (0256) 52-0080 (総務課)



生涯、健康を保つには、それぞれの年代に特有な問題を解決していくことが大切となります。

今日は、思春期からみていきましょう。

毎日の食事から

よく噛む習慣を

身につけましょう

子どもの成長にとって噛むことはとても大切です。噛むことで、唾液の分泌を促し、消化を助ける、脳の働きを活発にするなど、多くの働きがあります。

毎日の食事では、噛み応えのある食材を用いましょう。そして、噛んで味わって食べることの大切さを教え、習慣づけましょう。

よく噛むと

脳の働きがよくなる！

よく噛むことは、脳の血流量を増やし、脳細胞の働きを活発化します。特に、脳の中でも記憶や知能を統合する大脳皮質の発達に大きな影響を与えます。脳の発達期にある子どもにとっては、よく噛んで食べるのが大切です。

生涯を通じた歯の健康づくり②

～思春期・青春期～

親が子どもの口の中を
しっかりと点検しましょう

六歳ころに乳歯の奥に初めて生えてくる永久歯（第一大臼歯・六歳臼歯ともいう）は、歯並びや噛み合わせの基本となります。第一大臼歯は、物を噛み砕く力が一番強く、中心的な役割を担っています。乳歯と永久歯の混在した状態（混合歯列）は

手入れが難しくなるため、親が歯や噛むことの大切さを自覚して、子どもの歯みがきを教えましょう。

丈夫なあごを
育てましょう

最近、うまく噛むことができない子どもが増えています。原因は、よく噛まなくなったことです。丈夫なあごは、よく噛むことから育ちます。あごの発達が悪いと、永久歯の歯並びにも影響し、よく噛めなくなるばかりか、むし歯や歯周病になりやすくなります。

また、永久歯列が完成した思春期・青春期には、噛み合わせは安定しますが、ホルモンの変化などにより歯肉炎が多発するので注意が必要です。

（加茂市歯科医師会）

第47回 総合体育大会 開会式

七月二十三日、文化会館で総体総合開会式が開催されました。

総体参加者の入場行進は、ステージに並べられている各競技クラス別優勝カップの前を通過して始まりました。続いて、体育文化の発展に寄与された方々と優秀競技者の表彰がかわせて行われました。総体は翌日の市民登山からスタートしました。

この開会式で表彰された皆さんは次のとおりです。（敬称略）

〔体育功労者章〕

- ▼小柳弘（野球発展と指導に寄与 加茂市野球連盟常任理事 八幡三）
- ▼小出勝也（野球発展と指導に寄与 加茂市野球連盟副理事長 旭町）
- ▼土田定男（野球発展と指導に寄与 加茂市野球連盟副理事長 後須田第三）



〔優秀指導者章〕
▼小柳伸介（加茂市バドミントンチーム監督として第52回全国青年大会に4位入賞 駅前）

〔優秀競技者章〕

- ▼大橋純一（国体バドミントン競技県予選会シングルス2位 新町二）
- ▼加茂市勤労青少年ホームバドミントンクラブ（県青年大会優勝 全国青年大会4位入賞 谷口和弘、坂上勝志、大橋純一、渡辺美幸、栢森重矢子、坪谷千恵子）
- ▼野本涼太（平成15年度全国小学生体操競技選手権大会銀賞 新栄町）
- ▼金子健三（平成15年度全国小学生体操競技選手権大会銀賞 加茂体操クラブ）
- ▼高野雄貴（平成15年度全国小学生体操競技選手権大会銀賞 幸町二）
- ▼川口正太郎（平成15年度全国小学生体操競技選手権大会銀賞 新町）
- ▼近藤拓也（県体操競技選手権大会あん馬2位個人総合5位 石川二）
- ▼船久保洋平（県体操競技選手権大会）



- ▼会鉄棒3位個人総合6位 上町）
- ▼葵中学校体操部（平成15年度県中学校総体団体優勝、北信越中学校体操競技大会団体準優勝。高野耕平、湯沢友也、近藤拓也、船久保洋平）
- ▼目黒美紗樹（高校総体兼全国高等学校スキー大会出場 下高柳）
- ▼青柳大地（北信越高校総体陸上競技出場 福島）
- ▼中野涼司（北信越高校総体陸上競技出場 寿町）
- ▼坪谷麻衣子（北信越高校総体陸上競技出場 新町一）
- ▼鷺尾夏季（県高校総体空手道大会女子個人組手準優勝 女子団体組手優勝 下興屋向）
- ▼松沢和彦（平成15年度全日本卓球選手権大会出場 秋房）
- ▼須田ジュニアバレーボールクラブ（第17回北信越小学生バレーボール大会出場 代表者京野秀幸、中澤亮輔、斎藤大介、今井大貴、矢部翼、土田崇寛、石崎惇一、真柄輝樹、山崎涼太、星野光希、知野翔太、知野拓哉、村上丈一郎）



七月二十四日、市内小学校四年生と保護者の四十名が参加して自転車ラリー大会が行われました。大会は、一般道での走行体験に遊びや競技の要素を加えた自転車安全教室を通して交通

ルールとマナーを身に付けてもらうことを目的に、加茂警察署、加茂市交通安全母の会、加茂地区交通指導隊の協力で、夏の交通事故防止運動の一環として開催されました。

市役所周辺の一般道をコースに正しい自転車の乗り方などをチェックする安全走行の部と、文化会館前広場に設置したS字や8の字などで運転技術のチェックを行う技術走行の部の二部門で行われました。各チェックポイントにおいて母の会役員や交通指導隊員が、自転車での横断歩道や踏切の正しい横断の仕方などを指導しました。

競技終了後、認定証授与式で

は、大森蓉子加茂市交通安全母の会会長から参加者に「ラリー大会認定証」が贈られました。最後に参加者の代表が「ルールとマナーを守り、交通事故を起こさない遭わないように注意することを誓います」と誓いの言葉を述べ大会は終了しました。



総体結果



登山

期日 七月二十四～二十五日
会場 上高地・焼岳
※総体登山には五十五名の方が参加されました。



硬式テニス (ダブルス)

期日 七月二十五日・八月一日
会場 庭球場(駒岡)
【Aクラス】▼男子①高橋富雄・小

林勇(グレイト) ②片岡謙作・中島昭(加茂ローン) ③安中直樹・東樹新一(グレイト・フリー) ▼女子①大桃さおり・佐久美みゆき(加茂テニスクラブ) ②吉沢恵美子・佐藤桂子(グレイト) ③渡辺俊江・中山佐和子(シテイサークル)

【Bクラス】▼男子①吉田英春・猪股準(加茂病院) ②前田裕貴・鷺津正人(加茂晩星高校) ③星野清・和田博昭(加茂病院) ▼女子①星ノリ子・速水尚美(フレッシュ) ②青柳恵里加・中村美樹(加茂晩星高校) ③丸山絵理・渡辺ゆかり(加茂高校) 【Cクラス】▼男子①浅川高年・藤田猛(フリー) ②袴田慎平・滝沢潤



野球

期日 八月一日、八日
会場 七谷・川西野球場

樹(葵中) ③小林珠祐・坂井章一郎(フリー) ▼女子①岩名美穂・猪熊友里恵(加茂高校) ②川崎恵理梨・五十嵐香(加茂高校)

【一般の部】

優勝 インディアンズクラブ

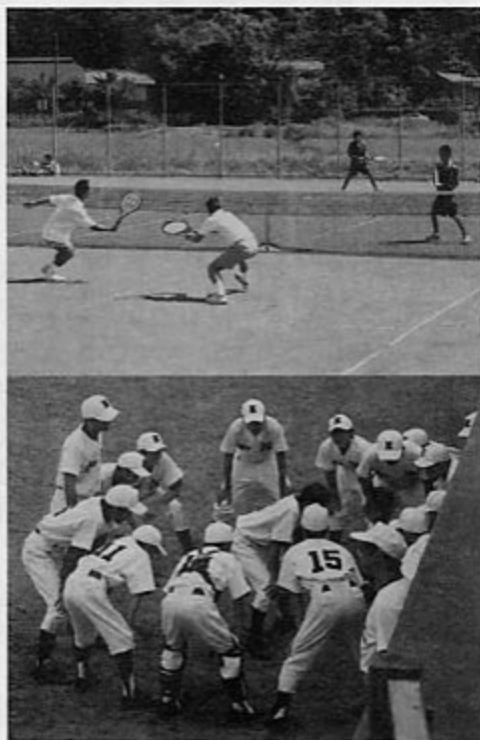
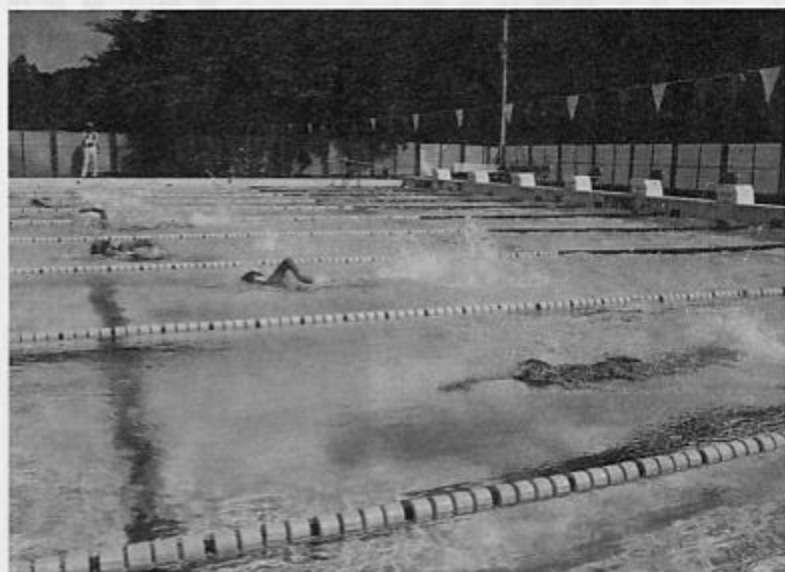
準優勝 加茂市役所野球部

【壮年の部】

優勝 八幡

準優勝 下条ファイターズ

3位 赤谷、秋房野球会





水泳

期日 八月一日

会場 市民プール

※選手所属のうち「加茂アタコ ミュニティ」を(AC〇〇)、「加茂スパーペンギン」を(SP〇〇)で掲載しました。

〔小学生男子〕▼五十m自由形①芥見大(31秒8) 大会新 石川小六
②樋口裕樹(石川小五) ③青野鉄平

(AC小五)▼五十m平泳ぎ①芥見大(41秒0) 大会新 ②小林潤(AC小五) ③斉藤竜也(石川小六)▼五十mバタフライ①樋口裕樹(45秒7) ②青野鉄平 ③志田昂太郎(石川小六)▼五十m背泳ぎ①坂内貴洋(37秒2) 大会新 石川小五 ②難波尚弥(AC小六) ③有本浩武(AC小三)▼百m平泳ぎ①難波尚弥(1分48秒9)▼百m背泳ぎ①坂内貴洋(1分20秒3) 大会新▼二百mリレー①石川小(2分35秒9) ②加茂AC a ③

加茂AC b
〔小学生女子〕▼五十m自由形①中林優菜(34秒6) 石川小六 ②村山美桜(下条小六) ③石原知佳(AC小四)▼五十m平泳ぎ①村山美桜(53秒8) ②坪谷秋桜(AC小四) ③児玉美紀(石川小五)▼五十mバタフライ①中林優菜(42秒0) ②捧舞子(AC小六) ③久保瑞稀(AC小二)▼五十m背泳ぎ①高橋里佳(1分2秒1) 加茂南小五 ②渡辺彩子(AC小二) ③捧舞美子(AC小二)▼百m

自由形①長谷川侑紀(1分19秒3) AC小二 ②田中結(AC小五)▼百m平泳ぎ①長谷川侑紀(1分48秒9)▼百m背泳ぎ①田中結(1分34秒9)▼二百mリレー①加茂AC a(2分47秒3) ②加茂AC b ③石川小
〔中学校男子〕▼二百m個人メドレー①芥泰典(2分33秒5) 大会新 SP中三)▼百m背泳ぎ①芥泰典(1分12秒9) 大会新
〔中学校女子〕▼五十mバタフライ①橋本彩乃(41秒4) 葵中二)▼百m自由形①志田あずさ(1分21秒2) AC中一)▼百m背泳ぎ①橋本彩乃(1分31秒8)▼二百m自由形①志田あずさ(3分1秒0)
〔高校一般男子〕▼五十m自由形①堀内謙一(28秒9) 加茂水泳クラブ
②諸橋修一(フリー)
〔高校一般女子〕▼五十m自由形①市川真奈(31秒7) ②廣田祥美(タツシュニ三条) ③及川実沙子(AC高一)▼五十m平泳ぎ①坂内沙織(48秒7) AC高一)▼五十mバタフライ①市川真奈(40秒8)▼五十m背泳ぎ①及川実沙子(43秒2)
〔壮年男子〕▼五十m自由形①芥滋夫(34秒5) SP) ②橋本昌美(フリー)▼五十m平泳ぎ①芥滋夫(46秒4) ②橋本昌美
〔壮年女子〕▼五十m自由形①田中加代子(35秒9) AC)

やさしい医学

先回お話ししましたいろいろな種類の咳のなかで、少々困りものなのは、気管支喘息です。咳が続くのでお医者さんにかかったら「喘息のケがあります」と言われたことのある人も少なからずいらっしゃると思います。

特徴としては、夜中にゼーゼー・ヒューヒューという胸の音が聞こえて、息が苦しくなり、よく眠れないなどがあります。昼間は階段の上り下りに息切れがして、心臓がときどきして

る、咳が止まりにくいなどの症状があります。以前から風邪をひくとときどきなっているのですが、いつものこととあまり気に止めない人もいます。

しかし、現在の日本で毎年四千人の喘息患者さんがお亡くなりになっていることは意外と知られていません。気管支喘息の死亡原因の最も多いのは窒息死ですが、決してお年寄りに多いわけではなく、若い方にもけっこう多いようです。気管支喘息は発作が起きるとたいへんつらいのですが、いつも我慢していると治っているの、たいしたことはない病気だろうと思ってしまう患者さんが多いのです。

夜中のゼーゼー・ヒューヒューは

ほうっておけない(気管支喘息)

かしいつも小さな発作とは限らず、何百回に一回ほど大きな発作が起きることがあるのです。いつもの小さい発作だろうと思っているとだんだん苦しくなり、息ができない状態となり、救急車を呼んだけれど到着する前に息ができなくなつて死亡している、なんてことも多いのです。今の気管支喘息の治療は十年前とはかなり違ってきています。まず、気管支喘息は発作だけが問題なのではなく、普段から慢性的に気管支の中で炎症が起きていることがわかりましたので、発作のときだけ治療するのではなく、発作のときでなく、発作のないときにこそ治療をしておく必要があります。そして、この慢性の気管支の炎症を抑える薬として吸入ステロイドなどの新しい吸入剤や



新しい内服薬も使えるようになり、かなり治療において進歩が見られているということですが、これらの薬の登場で約八割の気管支喘息患者さんは普通の人と変わらない生活ができるようになり、以前は六千人以上いた日本での喘息死亡が、今は四千人を下回るようになってきているという状態です。

気管支喘息の可能性があると思われる人は、一回はお医者さんと相談したほうがよいようです。

(加茂市医師会)

「風も緑の若宮中学校」校門碑

若宮中学校へ登る坂道の八合目右側に、校門碑が建てられていた。高さ二十センチの台石の上に、高さ百十六センチ、幅二百二十センチの花崗岩の巨石に、「風も緑の若宮中学校」と横書きに彫られた黒御影石を嵌め込んでいた。

碑除には「昭和四十九年十一月吉日建之・創立二十周年記念実行委員会・五代校長滄海敬書・四代耕石謹刻」と彫られ、建立の由来を知ることができる。校門碑の後ろには緑濃いカイズカイブキの垣を巡らし、前面にはハナミズキ、右後ろからは春に先駆けて満開のコブシが碑上を覆う。

加茂の風土記



若宮中学校へ続く坂道の途中にある「風も緑の…」の校門碑

昭和三十年四月一日、若宮中学校は創立され、その年九月五日午後六時ころ、かねて校歌作詞の依頼を受けておられた詩人・堀口大学先生が来校された。暮れなずむ周辺の山並みや眼下に広がる市街地を眺めて作むこと暫し、「できたよ」と叫んだと川口徹治初代PTA会長は回想されている。

おそらく「風も緑の若宮の眺め明るい丘の上 黒髪匂うともがらよ」と、歌い初める歌詞が生まれたのではあるまいか。堀口先生の祖父・長岡藩士良治右衛門は戊辰戦争で討死、父九萬一は外交官で海外赴任、母政さんとは四歳で死別、祖母の

手で育てられた。「母の声」という母を恋うる詩が残っている。母よ 僕は尋ねる

耳の奥に残るあなたの声を
あなたが世に在られた最後の日
幼い僕を呼ばれたであらうその最後の声を
三半規管よ 耳の奥に住む
巻貝よ 母のいまはの

その声をかえせ

温かな人間性と軽妙さを持ち味とする後年の文化勲章受章詩人堀口先生の作風から、女性的な人柄と思われるがちなが、実際は酒を愛した豪放、男性的で、自らは「歌い暮らした油断」と称したという。

校門碑に墨跡を残す滄海・五十嵐慶平先生は、昭和四十五年から五年間、五代若中校長としてプール建設にも足跡を残している。

また、石工岡田家当主は本名久、六代目利平が新潟県庁より耕石製名を許されて四代目で、青海神社表参道最初の石段前に建つ大石燈籠にも、その名を刻む村松千原の勅石家である。

若宮中学校卒業生九千二百七十七名にとっては、夢寐にも忘れがたい「風も緑」の校歌である。

その父母にとっても。

(古川 信三)

おめでとう

第55回新潟県ポンプ操法競技大会 四位入賞

■加茂市消防団第7分団第4部 (前須田・砂押新田地区)

八月一日に阿賀野市で開催された大会に、県内各地から選ばれた十八チームの中で、三南地区代表として出場した加茂市消防団第7分団第4部が四位に入賞しました。

選手・消防団の皆さんは、早



朝や夜の時間帯に練習を重ね、常に災害に備えています。その努力が今回の入賞に結びつきました。

人口のうごき

8月1日現在

世帯 9,903 (+ 5)

人口 32,827 (-18)

男 15,893 (-10)

女 16,934 (- 8)

() 内は前月比

(7月異動分)

出生 18(男10 女 8)

死亡 23(男14 女 9)

転出 37 転入 24